

【 第20回女子ジュニア世界選手権 】

2016年 7月 3日 ~ 17日

ロシア ・ モスクワ

試合結果報告 7 月 6 日 (水)

JAPAN	VS	SWE
10	前半	11
8	後半	15
	第一延長	
	第二延長	
18	合計	26

個人得点

No.	名 前	前半	後半	合 計
1	中野 智佳			0
2	藤田 明日香	3		3
3	三橋 未来			0
4	高杉 桃加		1	1
5	河原畑 祐子	2	2	4
6	和田 涼夏			0
7				0
8	斗米 菜月			0
				0
10	伊地知 美姫	1		1
11	登川 愛			0
12	神谷 怜名			0
13	山口 絵梨香	1	2	3
14	眞方 彩帆			0
15	澤井 咲良			0
16	大沢アビ直美			0
17	青 麗子	2	2	4
18	渡部 真綾	1	1	2
	合計	10	8	18

試合結果

戦評

藤田の速攻で先制するも、非常に身長の高いSWEのDFに対し、慎重に考え過ぎ上手く機能できないオフェンスの序盤となってしまった。またDFでも大きさに押し込まれ7mTや退場とされてしまう(10分4 - 4)。10分を越えたあたりからSWEオフェンスに徐々に慣れ出した日本DFは、牽制など運動量も増加しDFから藤田の速攻と狙いの展開となる6 - 4(13分)。その後もDFでは粘るも、オフェンスでの動きが悪く連動した攻撃ができず、高さのある6-0DFを攻めめぐみ逆速攻展開とされてしまう。なんとかGK大沢が速攻ノーマークをセーブするなどでのぐが21分8 - 8とされたところでタイムアウト。斗米をセンターに配置し、オフェンス全体が動き出し、河原畑・山口のカットインで10 - 11と1点差で前半終了。

後半に入ってもオフェンスの攻め手が無く、逆速攻で三連取られてしまう。それでも山口や河原畑の個人技で追いつき(12 - 15:36分)、いよいよ40分過ぎ日本がペースを握る。河原畑、青、山口が得点、続いて高杉の速攻も飛び出し16 - 17と反撃開始。さらにはSWE退場でチャンスとなるも攻撃が単調となり単発となるケースが増加してしまう。数的優位も利用できず、逆速攻展開となり、45分過ぎから10分間得点できず、その間にSWEにロングシュートとポストの2対2で確実に得点を積み重ねられた。大型GKの攻略も課題となった試合となった。

報告記入者 :

岡本 大